

会報

日本勤労者山岳連盟・新日本スポーツ連盟

三島野スポーツクラブ

No. 199

2017年4月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



小矢部市城山公園より

小木 清画

4月・5月企画案内

春の自然を楽しむ企画満載

ポスターつくりました 活用を

山行報告

上高地散策

西穂独標

雪上訓練報告

労山本部から無事故表彰されました

山行報告

3/15 (水)
平日企画

残雪の上高地散策

メンバー：L・岩井富雄、川渕順正、小坪哲彦、林 憲彦、堀井泰則、的場邦夫、
甲かほる、松田理恵子、守田清子

【行程】

薬勝寺P 5:30 ⇨ 釜トンネル出発 8:00 ⇨
大正池ホテル前 9:37 ⇨ 田代橋 10:39 ⇨
河童橋着 11:14(昼食) ⇨ 河童橋出発 11:58 ⇨
田代橋 12:04 ⇨ 作業道を歩く ⇨ 釜トンネル
出口 14:23 ⇨ ゆうゆうの森で入浴 15:00
薬勝寺P着 18:00
歩行距離 13.6km 歩数 26,000歩
歩行時間 6時間23分



ひとくち感想

大正池にて焼岳を背景に

- 甲 か**：2回目の上高地散策。今回は、とても雪が多くてびっくり。風景も全然違って見えました。冬の山の怖さも分かった山行でした。残念でしたが温かい味噌汁のおもてなしには感謝します。ありがとうございました。
- 岩 井**：毎年のように上高地散策に出掛けていますが一番悪天候でした。焼岳や霞沢岳が時々姿を見せてくれました。久しぶりにトンネル出入り口付近が凍結していて工事用の車両がスリップして出発するのに苦労しているのを見ながら運転手の到着をまっていた。新しく出来た上高地トンネルを過ぎると雪の多いのにビックリ。除雪した道路脇に1.5m~2mぐらいの雪の壁ができ、除雪した道路は圧雪状態でスリップに気をつけながらの歩行でした。昼食に味噌汁を作る予定で準備しましたが、強風で完成品にならなかったことがちょっと残念でしたが今後の味そしる作りに活かしたい。あまり良くない天候でしたが、歩行中いろいろ世間話や今後の山行計画など楽しい雰囲気です。Lとして一安心しました。
- 林 憲**：3月半ばでも気象条件が悪いと建物の陰でも-5度ぐらいの気温になることを実感し、準備の甘さを思い知らされました。人様の味噌汁の接待をあてにし、温かい飲み物を持っていかなかった事を反省し今後の山行に生かしたいと思います。
- 的 場**：平湯は雪で天気回復を願いつつ釜トンネル、上高地トンネルを抜けて上高地へ、薄曇りで時折粉雪が舞う中凍結した上に新雪が積もった道を慎重に歩く、時折太陽がうっすらと輝き焼岳、霞沢岳を浮かび上がらせ、幻想的な雰囲気に感動！！穂高連峰が見えなかったのが残念。



川 渕：早朝、家を出るときはみぞれ交じりの冬の雨。時折激しく降る。この日に限って何で？と思っても詮無き事。行く車窓からは、寒々とした山間の雪景色がみられた。目的地では更に寒く、氷点下で雪が斜めに飛んでいた。去年の温暖で賑やかな散策とは大違いだ。「山に同じ情景は無い。日々異なる。だから何度でも訪れる。」と、山人から聞いた。確かにこの寒さで森は静かだった。入山者は殆ど無く、名物のサルは見かけないし、鳥の声も聞こえない。言い換えれば森閑とした、手つかず自然か。サラサラと凍てつく寒さに降る雪は、かじかむ手袋の指先に結晶を残して美しい。黙々と雪上を歩く

(次ページにつづく)

- 小 坪：例年になく積雪量が多く、訪れる人も少なく静かな雪の上高地散策でした。忘れかけていた春山の防寒対策を改めて再認識した一日でした。
- 堀 井：上高地に向かう神通川沿いの山の木々の枝が、昨夜からの雪をまとって素晴らしい雪景色を醸し出していて感動！穂高連峰は雲の中だったが、曇りに薄日が差したと思ったら小雪が舞う梓川沿いの雪を踏む散策は、この時期の上高地らしいと納得した。心地よい疲労感が心身に残った。
- 松 田：昨年の上高地は真っ青な空と輝く穂高連峰の山々、そして冬をたくましく生きるおサルさんたちが心に残りました。一方、今年の上高地は、サルに無残にむしり食べられた幹と、雪の重さと強い風に倒れた木々の姿がまた、冬の上高地の厳しさを感じました。時折舞う雪と冷たい風は、またこれも楽しかったです。また行きたいなあと思いました。

感想 モノトーンの上高地散策

守田 清子

釜トンネルを抜けるとすぐに、真新しいトンネルがありました。以前、雪崩注意の看板があった所です。それを抜けると、除雪された車道が続きます。カーブを曲がると思わず歓声を上げたくなるような、白銀の穂高連峰の絶景が目飛び込んでくるはず・・・でしたが、残念ながら本日の空模様は、曇り時々雪。

例年この時期に企画し、今まで天気がハズレタことはないそうですが、今日のような雪の日もそれなりにいいものです。時々薄日が射すと、焼岳がはっきりと、その雄大な全貌を見せてくれたりする、その予期せぬ瞬間に出会うと最高です。後に、霞沢岳と六百山が、突然ド迫力で現れた時も圧倒されました。

岩井リーダーを先頭に総勢9名は、凍った路面にうっすらと新雪をかぶった足元に注意しながら、楽しいおしゃべりは続き、あっという間に大正池に着きました。雪の河原での記念撮影は、東京から来たという女性2人組にシャッターを切ってもらいました。そのまま遊歩道を進みますが、トレースもしっかりと踏み固められています。左手に梓川の澄みきった清流、右手にカラマツ林という上高地特有の景勝を堪能しながら、河童橋を目指します。



河童橋に近づく頃になると、風がでてきて、休憩場所の選定が難しかったのですが、とりあえず右岸に渡り、シャッターを下したホテルの軒下で昼食タイムとなりました。時折薄日が射したかと思うと、粉雪が舞ったり、風が吹きつけたりと目まぐるしい天候の中、岩井リーダーらのご好意に頭が下がる思いでした。

さて、バスターミナルに寄って帰路に着きます。あの沢山の観光客や登山者でごった返しているシーズン期の喧騒が幻のように、ひっそりと静まりかえっていました。

工事中の帝国ホテルの横を、いつか泊まりたいなどと話しながら右岸に渡り、車道をゆっくりと下りました。焼岳に別れを告げ、帰りの釜トンネルは、押されるように早足で下り、あっという間に『別世界』から『現実』に戻ってしまいました。

現実に戻って嬉しかったのは、迎えの車がトンネル入口まで来るではありませんか！おかげ様でトンネル歩きの疲れた脚は大喜び。的場さんありがとう！感謝感謝です。

最後に、神が降りと言われる上高地は、静寂が似合っていました。モノトーンの上高地が大好きです。お世話していただきました方々に感謝申し上げます。

私事で恐縮ですが、2月に大品山にお試しで連れて行っていただき、その後入会しました。正式には今回が初参加ということになります。今後ともよろしく願いいたします。

山行報告

3/19(日) 雪上訓練

旧スノーバレー利賀

参加者：荒井英治、清水敏雄、背渡健治、堀井泰則、的場邦夫、岩越理代、清水なをみ、
中川佐智子、岩越辰雄（会員外）

薬勝寺Pを7:00出発し、旧スノーバレー利賀スキー場に8:30着

9:00にグレンデに出て、圧雪車がきれいにしてくれたグレンデの斜度の急な所で「キックステップ」「トラバース」「ピッケルの持ち方」を実施しながら、1062mのリフト乗降場へ11:00。

ここから上部は圧雪してなくラッセルが必要なのでスキー場トップまで登ることを断念。昼食後11:50下山しながら、「下りのキックステップ」「ピッケルで滑落制動」「転倒した時のピッケル制動」を行った。雪面を掘って雪崩などで雪に埋まる疑似体験も行い13:30終了した。



ひとくち感想

荒井：旧スノーバレースキー場、斜面に雪はたっぷりあったのに気温が上がって、雪が腐っていた。もっとアイスバーン状態なら、滑落の怖さ、滑落停止の難しさを実感出来なかったのに、残念。次回はもう少し実施時期を早めて実施したい。でも参加者はアイゼン歩行とピッケルでの滑落停止のイメージは得られたと思う。天竺温泉で汗を流してさっぱり気持ちよかった。

清水敏：天候、場所ともに申し分のない場所での直登、斜登行、トラバース訓練は出来て良かったのですが、滑落制動では雪が緩んで全く滑らず少し残念に思っていた所、的場さんの滑り台のおかげで滑落制動訓練も出来、とても勉強になる楽しい一日でした。また機会があれば参加したいと思います。

背渡：これで春山でのピッケルとアイゼン出番待ち！

清水な：車窓から利賀村の雪景色にまずうっとり。登山口のスキー場からは圧雪されたスロープが青い空の山上まで続いていました。アイゼンを着けピッケルを持って雪の上を登ると気持ち良くて、雪の春山を堪能できました。初心者の方の七尾からの3人を何から何までお世話していただきありがとうございました。

岩越理：とても有意義な訓練でした。雪に埋もれてみて雪崩の恐ろしさを体験できました。歩き方は勿論、滑落制動も身体で覚えることが大切だと思いました。私の体力不足もよ〜くわかりました。

岩越辰：お試し山行に参加させて頂きました。雪山登山と滑落制動の基本を教えてくださいありがとうございました。天気にも恵まれ有意義な1日でした。



堀井：雪の山はとても魅力あふれる、とはいっても装備とそれを使いこなすことなしにはそこに入ることはできない。今回の訓練はとても実践的だったと思う。雪もたっぷりあって圧雪してある緩急ある斜面300mを登降しながらできる場所は他にないだろう。次回は未経験者でも参加できるようにしたものです。

的場：土砂崩れのあった旧利賀スキー場を見ながら迂回路を通りスノーバレー利賀へ。ゲレンデは雪上車で綺麗に整備されており訓練には最高の場所だと思う。アイゼンの付け方。ピッケルの持ち方。歩き方、斜面の登り方、下り方、トラバースの仕方、滑落した時の止め方等を登りながら繰り返し訓練し、体に覚えこませる。繰り返し訓練する事が大事と改めて思いました。



中川：こんにちは、はじめまして。昨年12月に入会した中川佐智子です。

未経験者歓迎とのことで雪上訓練に参加しました。もともと滑り台やジェットコースターが怖いので、みなさんがザッと滑っていくのを見ているだけで怖かったです。前転しながら止まるのとかを見ているだけで、頭が回る感じでした。「やってみろ」と言われてもできませんでしたが、雪山を歩くのはとても楽しかったです。やっぱり“山はいいなあ〜”と思いました。これからできるだけ参加して、教えていただき上達したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。今回参加のみなさんありがとうございました。

山行報告 3/25 西穂独標 2701m

自主企画

メンバー：L堀井泰則、小坪哲彦、新田俊明、的場邦夫、岩越理代

【行程】

薬勝寺P 6:00 → 新穂高温泉 7:50 → ロープウェー
7:45~ 8:55 西穂高口出発 9:55 → 西穂山荘 11:15
~11:30 → 丸山 12:05 → 独標 13:15~13:25 → 西穂
山荘 14:20~14:50 → 西穂高口 15:50 → 新穂高温泉
17:00 楽今日館で♨入浴 薬勝寺P 19:30



左・晴れわたったこの日、登山者が始発のロープウェーに長蛇の列をつくった。

右・西穂独標に立つ



ひとくち感想

新田：快晴の天気恵まれ2度目の西穂独標に立つことができました。頂からの360度の大パノラマに雪山ならではの感動を味わうことができ、また山から元気をもらいました。堀井Lと同行の皆さんに感謝いたします。

(ひとくち感想 次ページに続く)



登り始めて西穂稜線を仰ぐ



西穂独標へ歩を進める

堀 井：持病の治療で3日間入院、その間寝たきり状態で過ごした。そして退院の翌日に西穂独標に挑む無謀な行動に“少し遠慮気味に西穂丸山でUターンか”と覚悟していたが、あまりの素晴らしい晴天と雪に覆われた白い山岳大伽藍に魅せられて独標まで行ってしまった。が、途中から疲れた脚に頻りに立ち止まることとなってパーティーに迷惑をかけてしまって〈L〉失格。しかし、その結論は『無理したが登って良かった』でした。

小 坪：2014年3月15日以来の西穂独標、快晴に恵まれ降り積もった新雪を食むアイゼンのキュッツキュッツという音が何とも心地よい。丸山では久々に見るエビの尻尾、独標頂上から眺める大パノラマ、今日も来て良かったなあとしみじみと感じさせられました。企画してくれたリーダーとパーティーを組んでくれた仲間の皆さん有難う。この春山のためにトレーニングを積んできたおかげとしみじみと感じたものです。

的 場：最高の天候に恵まれ、360度の大展望を楽しむ山行ができました。でも、やはり独標直下の岩場は緊張します。でも又、あの緊張感を楽しみたいです。

独標に立ち山々からパワーを

岩越理代

息子の受験・卒業式・・・正月明けからバタバタと忙しかったが、なんとか日時の調整がつき、今回の山行に参加となった。前日帰宅して準備を終えたのが23時ごろ。緊張からか寒かったからか、夜中に数回目がさめてしまった。朝出かけるときに車のエンジンをかけるとガラスに霜がついていた。やけに冷えているなどと思った。

6時に集合して出発、途中北アルプスからのご来光で、皆のテンションが上がった。少し到着が早かったかなと言いながら新穂高の駐車場へ到着。しかし、天候が良く多くの車があり、ロープウェイ乗場にはすでに数十人の列。カラフルなウェアに身を包み、様々なギアを持った山好きさんらと共にロープウェイで上へ。途中アナウンスをききながら周囲をふと見ると、真っ白な霊峰白山が私たちを見送ってくれていた。

西穂の山荘までは樹林帯をアップダウンしながら進む。途中進行方向左前方に西穂高岳、ピラミッドピーク、独標、ギザギザといくつものピークが見えた。山頂にいる人々まで見えそうな程に澄んだ空気、アイゼンで新雪を踏みしめる音がなんとも心地よかった。ただ、外気は氷点下でも風はほとんどなく、特に小屋手前は斜度があり「あー暑い!!」の連発だった。

実は私は今回丸山まで行って山荘に戻って名物のラーメンを食べようかなーと考えていたのだが、せっかく滅多にない天候なのだから、こんなチャンスを逃さず今日は独標まで行くぞ!と背中を強く押しいただいたのだった。尾根を眺めながら急ぎ昼食をとり、ストックをしまいピッケルに。よっしゃいくぞ!上に向かって歩き始めた。ところが、気持ちは上がりたけれど、ほんの僅かしか脚があがらない。しっかり息を吐くことを意識してもあっという間に疲れてしまい、リズムに乗りたくても乗れない。しかし焦っても仕方がない。こんな時こそ小さくても一歩を出した。

独標手前の岩場でザックをデポし、少々身軽になって挑んだ。渋滞のため、おりたい人と登りたい人とのやりとりで少々待つこともあったが、その後は先輩方に声をかけていただきながら、ひらすらピッケルで雪面を突き刺してはアイゼンを蹴り込みながら這い上がり独標へ到着した。頂上はやや混雑だったが、各々写真をとって大満足だった。360度のパノラマは素晴らしく、上高地もくっきりと見えた。気象条件が良好であり、ピラミッドピークや西穂高岳へと進むパーティーもあった。



西穂独標の岩稜を下る

さあ、山荘へ引き返そう。下山時にはそれほど渋滞は起こらなかったが、とにかくアドバイスをもらいながら慎重に確実に進み無事難所を抜けた。しかし、ザックをデポしたところまで戻る途中私の足に問題が。なんと、久しぶりに両膝に近い大腿内側がつってしまったのだ。数年前に一度経験したことがあり、水分と塩分不足だと思い、アミノ酸と漢方と、小坪さんから粗塩をいただき慌てて飲んだ。山荘から上ではあまりに寒く、水をほとんど飲まず汗もかかず、水分やミネラル補給が不足していたことに緊張が加わったからかもしれない。しかし、効果は抜群、あっという間に楽になった。それにしても下りはこんなにザクザクと楽なのにどうして少しの登りになると途端に脚があがらないのだろうか。山荘名物ラーメンを食べてなかったから？酸素が薄いから？ 勿論そんなことではないと自覚（反省）している。



帰宅して早々から筋肉痛が始まり、どうやら遅発性の筋肉痛もやってきたようだ。しばらくは体が重く歩くのもぎこちないが、そんなことは全く気にならない。独標に行き、そこから見える山々から大きなパワーをもらって前向きな自分があることがとても嬉しい。

※リーダーはじめ先輩方、背中を押していただき本当にありがとうございました。それと、雪がある時しかできない雪上訓練での学びが役に立ちました。

山に登ると一人で登っている人やグループと出合います。そして、時には装備や登り方に「そんなのでいいの?」と思うこともあります。安全に山を楽しみ、明日を元気に迎えることで登山という「スポーツ」が成り立ちます。
『山登りを始めたい』『もっといろんな山に登りたい』などの想いの人に三島野スポーツクラブを知ってもらい、入会して一緒に楽しむことをすすめるためのポスターです。
公共の施設・スポーツショップ・多くの人が来る店舗などに張り出したいと思います。
もちろん、あなたの家の前に張っていただくことも「あり」です。普通紙ですので注意は雨にぬれない場所限定です。
欲しい方は堀井までご一報ください。クラブの経費で作っていますので無料です。
サイズはA2版のカラーです。

三島野スポーツクラブ 登山ハイキングスキー
ただいま 会員募集中
【問合せ・入会申込は】
村木市宝町 1364-35 代表 岩井 晋雄 ☎ (0766) 87-8180 or 090-3177-9256
Challenge & Enjoy & Safety
2017年の企画案内
春 4月 ○ 5日 (日) 赤松ハイク 川原・湯ヶ山山頂
○ 14日 (日) 笠原山 ○ 25日 (日) 八乙女山
5月 ○ 3日-4日 (土・日) 五ツ・鳥 山
○ 7日 (日) タウノコゲル ○ 14日 (日) 大石 (初級者)
○ 26日 (日) 餅ヶ岳・地蔵子山 (初級者)
夏 6月 ○ 4日 (日) クリーンハイク 二本目
○ 11日 (日) 雲山セミナー ○ 25日 (日) 穂積山の巻
7月 ○ 2日 (日) 白木湖 ○ 22日 (土) ~ 23日 (日) 北ノ沢
8月 ○ 5日 (土) ~ 6日 (日) 白山 五合ヶ岳
○ 11日 (日) 笠原山 雲ノ井
○ 28日 (日) ~ 29日 (日) 笠原山
秋 9月 ○ 3日 (日) 奥山荘 穂積山山頂
○ 16日 (土) ~ 17日 (日) 地蔵山・地蔵山頂 ○ 7日 (日) 入道山
10月 ○ 15日 (日) 地蔵山 ○ 27日 (日) 穂積山
11月 ○ 3日 (日) 餅ヶ岳 ○ 4日 (土) 穂積山・奥山荘

ポスターつくりました
↓
目につく所に張ってください

私の
体力UP 作戦
宮本久子の巻

数年前から一年を通し、週二回程度二上山を歩いています。大先輩の古川さんが年を重ねながら尚元気に登山を続けておられる事に感銘し、一つでも見習いたいと始めました。緩やかなアップダウンに階段あり、汗がびしょりになる事も。お陰で腰痛予防にもなっていると思います。いつ歩いても誰かに会い、時にはクラブの人から元気を貰います。また、雪割草、笹百合に城山の八重桜も楽しみに歩いています。今は二上山を歩ける事に感謝です。

4月・5月企画

アルプスの稜線は冬の名残りの雪が覆い
里山は新緑がまぶしい
そんな春を満喫しましょう

4/9 (日) お花見ハイク 八尾 城ヶ山公園

※桜の花の下で“宴”。ランチ、嗜好品、飲み物は各自で準備してください。

※参加申込は **4月2日**まで岩井富雄まで

FAX 0766-57-8180

＜あいの風鉄道とJR高山線で行きます＞

高岡駅発 8:37 小杉駅発 8:44 富山駅着 8:55

富山駅発 9:34 越中八尾駅着 9:59

八尾の街を歩き、聞名寺のしだれ桜などを愛でながら城ヶ山へ。

帰りは、八尾駅発 15:32 富山駅着 15:58 富山駅発 16:00

小杉駅着 16:10 高岡駅着 16:19

各駅に10分前までに集まってください。

城ヶ山の桜



4/16 (日) 弥彦山 634m 新潟県弥彦村



【集合・出発】薬勝寺P 6時00分

【行程】弥彦神社登山口から往復

登り 2:00 下り 1:30 標高差 670m 体力度。技術度とも★☆☆☆☆

【参加申込】4月6日まで堀井泰則へ

FAX 0766-25-2792 or SMS 090-1314-6394

4/23 (日) 八乙女山

756m 南砺市井波町

【集合・出発】薬勝寺P 8時00分

【行程】閑乗寺公園から往復

登り 2:00 下り 1:30 標高差 450m

体力度。技術度とも★☆☆☆☆

【参加申込】4月13日まで岩井富雄 FAX 0766-57-8180 へ

5/3～5/4 予備日 5/5 (水・祝) (木・祝)

No.198 で日程を間違えて掲載しました。お詫びし、左記の日程で実施することを案内します。

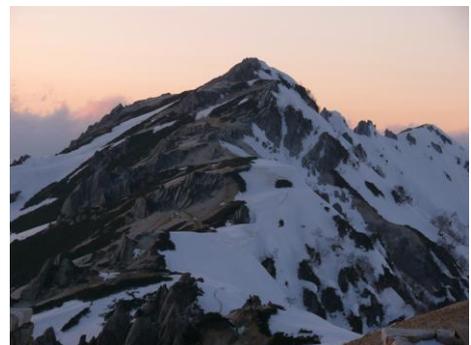
燕岳

2,763m

安曇野市(旧穂高町)

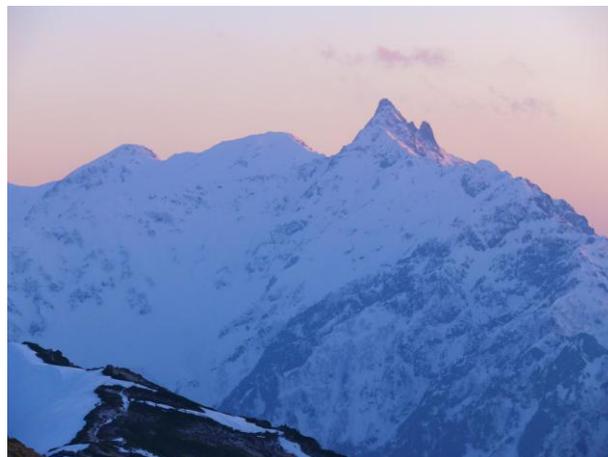
北アルプス 雪の春山入門コース

2700mの稜線にある山荘は“泊まりたい山小屋”ナンバーワン。山荘前から雪を抱く槍ヶ岳をはじめ北アルプス最深部の峰々の大パノラマの大展望。



燕岳の山頂

【行程】中房温泉から往復 燕山荘で宿泊
 登り 5 時間 下り 3 時間 30 分 標高差 1,300m
 体力度・技術度とも★★★★☆☆
 【装備】ピッケル (ストック)、アイゼン、防寒対策 (ウェア、手袋、帽子) サングラス (ゴーグル)、温かい飲み物、行動食、
 共同装備 (ツェルト、救急薬品)
 【参加申込】4 月 23 日まで堀井泰則へ
 FAX 0766-25-2792 or SMS 090-1314-6394
 【費用】15,000 円 (山小屋、交通費、その他)



夕暮れの雪の槍ヶ岳 燕山荘前から撮影 horii

5/7 (日) タケノコ掘り & 山菜の宴

◆小杉駅南口 8:30 に集合し出発 竹林まで約 6Km をウォーキング 竹林でタケノコ掘り 旬のタケノコ料理と山菜でランチ お土産のタケノコをもらって解散

※竹林に直接行くことも可

- ◆参加費用は実費
- ◆参加申込 4 月 27 日まで岩井富雄へ FAX0766-57-8180 へ
- ◆皆さんの山菜料理の持ち込み歓迎。嗜好品は各自で用意する。お酒を飲む人「車厳禁」です。



上・タケノコ掘り風景
 右・たけのこ料理で交流 (2014 年)



5/14 (日) 加賀大日山 だいにちざん 1368m 石川県加賀市



加南三山〔富士写ヶ岳・鞍懸山・大日山〕の一つとして石川県では親しまれている。山頂からの白山の眺望はよく、ブナ林も美しい。

単純標高差 800m 登り 3 時間 30 分 下り 2 時間 30 分
 体力度★★★★☆☆ 技術度★★☆☆☆

参加要綱などは次回会報No.200 で紹介します

5/28 (日) 僧ヶ岳の一角にありながら毅然とそびえる山

びょうがたけ えぼしやま
鉦ヶ岳・烏帽子山 黒部市

861m 1274m

標高差 680m 登り 3 時間 30 分 下り 2 時間 30 分
 体力度★★☆☆☆ 技術度★★☆☆☆

僧ヶ岳の北にのびる長大な烏帽子尾根の上にある。長い稜線を歩き辿り着く烏帽子山はまさに独立峰の風格がある。烏帽子山頂から朝日岳、雪倉岳、白馬岳から鹿島槍ヶ岳の後立山連峰の展望が良い。

参加要綱などは次回会報No.200 で紹介します

- ☆ 実施期日 5月28日(日)・29日(月)
- ☆ 宿泊施設「白樺湖ホテル パイプのけむり」 TEL 0266-68-2000
1泊2食 5,900円(税込み)(人数や男女の比により増減)
- ☆ 募集人数 7名(男性の優先枠有り…運転手確保のため)
7名を超え12名に達したら車を1台追加する事も考えています
- ☆ 参加費用 交通費3,400円・宿泊代6,000円・その他600円≒10,000円(概算値)
交通費は参加人数により増えることがあります。



☆ 日程

<28日>

小杉5:00 a m 出発、三城牧場登山口9:00 a m→広小場→百曲がり園地→塩くれ場→美しい塔→牛伏山→美しい塔→塩くれ場→王ヶ頭→ダテ河原コースを登山口へ→白樺ホテル パイプのけむり 5:00 p m

<29日>

ホテル出発8:00 a m→女乃神茶屋9:00 a m→蓼科山・往復→富山へ7:00 p m 予定



山頂が平らな蓼科山

- ☆ 参加申し込み 林 憲彦
(0766-82-6035 or 090-8099-2954 e-mail可)
- ☆ 参加申し込み〆切 5月19日(金)
定員になり次第締め切ります

報奨金は七千円と些少ですが、大切なことは金額ではなく、近年、山岳・登山事故が多く発生しているおり、この表彰は三島野スポーツクラブの何にもまして誇るべき実績だということとです。ひとつの事故がクラブ運営に混乱を招いたり、その人を好きだった山から遠ざけることになったり、家族やまわりの社会から非難されることにもなりかねません。

これを機会にいっそう三島野スポーツクラブの「安全登山」を大切にす運営と気風を培っていきましょう。



三島野スポーツクラブに対して標記の表彰状と無事故報奨金が届きました。

これは十年以上連続して無事故で、労山の遭難対策基金「新特別基金」の交付が無かった加盟クラブを無事故報奨金を添えて表彰し、「安全で楽しく豊かな山行」をさらに推進するために行われているものです。

労山本部「新特別基金」から
無事故表彰

三島野スポーツクラブ世話人会

任務分担	氏名	住所	TEL	携帯
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	背渡 健治	高岡市五福町 11-45	23-2446	090-7080-2617
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	23-2446	090-4320-5325
会計担当	荒井 英治	射水市上野 465	56-3058	
会報担当	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
事務局	小坪 哲彦	射水市中太閤山 5-59	56-3028	090-4684-4198

世話人会は上記の方々と、川渕 順正、林 憲彦、山本 則夫、岩越 理代、加藤日出子、甲 厚子で構成します

[相談役] 山田 格 [監事] 上田 千秋、竹内 啓子



4月世話人会は **11日(火)** と **25日(火)** とします。

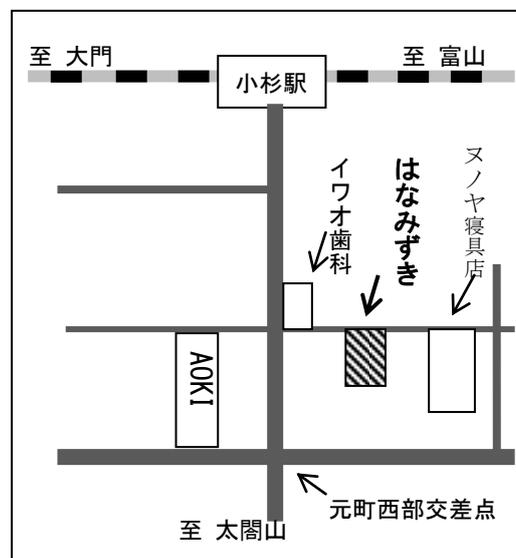
時間は7時00分～8時30分です。

会場は小杉駅南口近くの射水市三ヶ(元町) 2739-1「はなみずき」です。(布や寝具店横)

会員どなたでも参加できます。お気軽においでください。

編集後記

- ◇ 山行報告はいずれも「雪」に関わるものですが、イヤな雪降る地・富山県だからこそ、そんなところが近くにあって、日帰りのできることを活かし、楽しむことができるんですね。そのためには装備と訓練が必要なことは…論を待たないが…。
- ◇ “春爛漫”の企画が続きます。サクラ咲き、野山に山菜が芽吹き、豊かなブナ林が新緑で輝く、そして、ウグイスの鳴き声・・・想像しただけでココロトキメキませんか？
そんな自然にふれ、自然を守り、遺す大切さを体感できるように。
- ◇ 「年々体力の衰えを感じる」と少なからぬ会員がつぶやく声が聞こえます。筋力の衰えは事故につながります。山筋ゴーゴの著者・石田良恵さんは「100歳までも山に！」とその本にサインされました。『会報』で“わたしのトレーニング”を紹介する項を今後設けていきたいと思っています。細やかな積み重ねを大切にすることをモットーに。ご協力を！
- ◇ クラブ企画参加に“ちょっと足が遠のいていて…”とっている会員大歓迎です。春になりました、出かけましょう！いっしょに！自分の発見ができるかもしれません。
なにかとお忙しいと思いますが、思い切って時間をつくっては
どうでしょう。常連たちが待ってま～す。



2月の「第19回定期総会」でも提起されましたが、『会報編集委員会』をつくりました。原稿集め・ワープロ・校正・印刷・発送を行います。

(責) 堀井泰則、的場邦夫、福島忠義、甲厚子、松田理恵子、甲かほる のみなさんです。

会報についてのご意見などお寄せください。山の出来事の面白い話も。

堀井まで [Eメールアドレス horii.yasunori@rouge.plala.or.jp](mailto:horii.yasunori@rouge.plala.or.jp)

FAX 0766-25-2792

ネットで会報の閲覧ができます。[三島野スポーツクラブ]を検索し、[会報]をクリックするとこれまでの発行済みの会報が全頁フルカラーで見ることができます。